

ISHIDA まちづくり ニュース

創刊号(平成 16 年 7 月) (株)石田技術コンサルタンツ

市町村主体の創意工夫のまちづくり トップランナー地区の状況を見てみると…

平成 16 年度「まちづくり交付金」適用地区は、中部地方整備局管内で 37 市町村、47 地区(1 市で 3 地区のところもあります)になりました。

今年度からスタートした「まちづくり交付金」をトップランナーとして活用する各地区の状況を、新聞報道などの資料をもとに整理しました。

平成 16 年度 まちづくり交付金適用地区一覧

愛知県	18. 犬山城下町地区(犬山市)	34. 浜島地区(浜島町)
1. 荒尾周辺地区(東海市)	19. 布袋地区(江南市)	35. 東員地区(東員町)
2. 西部・南部地区(東海市)	20. 小牧南地区(小牧市)	静岡県
3. 松河戸地区(春日井市)	21. 藤ヶ丘地区(名古屋市)	36. 長沼地区(静岡市)
4. JR 神領駅周辺地区(春日井市)	岐阜県	37. 三保羽衣・折戸地区(静岡市)
5. 枇杷島駅周辺地区(枇杷島町)	22. 都心北部地区(岐阜市)	38. 静岡都心地区(静岡市)
6. 岩倉駅東地区(岩倉市)	23. 境川周辺地区(岐阜市)	39. 中央北地区(浜北市)
7. 稲沢駅周辺地区(稲沢市)	24. 美濃地区(美濃市)	40. 中心市街地活性化地区(三島市)
8. 東部丘陵線沿線地区(長久手町)	25. 可児駅東地区(可児市)	41. 葦山地区(葦山町)
9. 植田地区(豊橋市)	26. 古川地区(飛騨市)	42. 熱海中央(熱海市)
10. 豊田市駅周辺地区(豊田市)	27. 下呂温泉地区(下呂市)	43. 富士宮駅周辺地区(富士宮市)
11. 市木地区(豊田市)	三重県	44. 島田中央第三地区(島田市)
12. 豊川西部地区(豊川市)	28. 中川駅周辺地区(嬉野町)	45. 磐田駅北地区(磐田市)
13. 豊川街なか地区(豊川市)	29. 富田地区(四日市市)	46. 宮脇第一地区(掛川市)
14. 大浜地区(碧南市)	30. 名張地区(名張市)	47. 緑の回廊地区(掛川市)
15. 刈谷駅周辺地区(刈谷市)	31. 中央西地区(名張市)	
16. 安城北西地区(安城市)	32. 内城田中央地区(度会町)	
17. 安城桜井駅周辺地区(安城市)	33. 尾鷲地区(尾鷲市)	

47 地区 37 市町村

まちづくり総合支援事業からの移行地区が約 4 割、新規地区が約 6 割。

「地域再生計画」を策定している地区は約 3 割。複数の地区を有する市町村で地域再生計画が策定されている場合が多い。

まちづくりの目標は、「中心市街地活性化」関連が最も多く全地区の 38%、次いで「交通結節点・交通改善」23%、「定住人口の拡大」23%、「交流・コミュニティ形成」21%、「市街地の回遊性確保」19%、「安全・安心のまちづくり」19%と続く。(目標は複数設定)

目標は 3 つ設定が最も多く、2 つ～4 つが全体の 8 割を占める。

目標を達成する指標は、「定住人口」が最も多く全地区の 34%、次いで「来訪者数」32%、「施設等利用者数」28%、「建築着工件数・宅地面積等」23%、「駅乗降客数」21%、「満足度」21%と続く。

指標は 3～4 つ設定が多く、全体の 7 割を占める。(残り 2 割は 2 つまたは 5・6 つ)

当社独自の集計結果であり、若干の誤差等はご了承下さい。

『地域再生計画』と『都市再生整備計画』

地域再生計画は、「地域経済の活性化と地域雇用の創造を図り、持続可能な地域再生」を実現するために、内閣総理大臣の承認を受けて、各種支援措置を受けるものであり、「まちづくり交付金」も支援措置に含まれています。

また、都市再生整備計画は、「まちづくり交付金」を適用するにあたり、当該区域の都市再生のための具体的な整備内容を定めるものです。

まちづくり交付金の適用を都市再生整備計画区域内での効果だけでなく、市町村域全体など広い範囲でのまちづくりの一環として実施する場合、地域再生に係るすべての事業を「地域再生計画」としてとりまとめ、その支援事業の一つとして「都市再生整備計画」にもとづく「まちづくり交付金」を活用することが効果的であると考えられます。

『まちづくり活動推進事業』

「まちづくり交付金」では、ハード事業だけではなく、まちづくり活動といったソフト事業を一体的に実施できる点が大きな特徴であり、積極的な活用が望まれる点であるといえます。

平成 16 年度適用地区の中から、特徴的なソフト事業を位置づけている地区を整理します。

稲沢駅周辺地区(稲沢市)・・・住民と一体となった公園整備

豊田市駅周辺地区(豊田市)・・・買物利便性向上のための社会実験の実施

小牧南地区(小牧市)・・・住民参加による修景整備や公園整備、調整池のビオトープ整備等を実施

当社独自の整理であり、すべてを網羅しているものではありません。

まちづくりニュース発刊にあたって・・・

当社は、これからのまちづくりに必要なコンサルタントの役割について考えてみました。

地域に密着して、行政、住民、コンサルタントが一体となってまちづくりを進めていくことが求められているのではないのでしょうか。

「コミュニティコンサルタント」として、真に求められるコンサルタント像を追求していきたいと考えています。

そのため、まちづくりの情報交換のサロンの意味を期待して、まちづくりニュースを発刊することにしました。

皆様方からの、ご意見やご指摘により、実際のまちづくりに役立つまちづくりニュースにしていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力頂きたく存じます。

平成 16 年 7 月 株式会社石田技術コンサルタンツ

お問い合わせ・ご意見は、

株式会社石田技術コンサルタンツ 都市整備部

TEL ; 0 5 6 8 - 7 3 - 1 0 8 5

FAX ; 0 5 6 8 - 7 3 - 1 0 9 1

e-mail ; hasegawa_n@itcnet.co.jp

までお願いします。

当社は、

「頼れる！まちづくりのパートナー」としての

『コミュニティ・コンサルタント』

を目指しています。

